

分野		科目名		配当年次		開講期	
専門基礎分野		公衆衛生学		3年次		前期	
単位数		時間		担当教員		実務経験の有無	
1単位 (30時間)		18時間		非常勤講師 元大学准教授		無	
		12時間		非常勤講師 大学講師		無	
授業の概要		出生から死亡までの長い lifespan での様々な健康問題を社会医学的に考察していく。法律用語や健康指標、さらにその数値の変化も理解する必要がある。広範囲な領域なので、講義への集中が望まれる。資料は膨大になるので、整理整頓を要する。					
到達目標		<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生の立ち位置と集団の健康を理解する。 2. 集団の健康の評価のための様々な指標（死亡率等）を理解する。 3. 医学（医療）と社会制度（法律）の関連を知る。 					
授業計画		No.	授業内容			授業方法	担当
		1	公衆衛生のゴール（公衆衛生の意義を知る）			パワーポイント	
		2	医療制度と国民医療費の動向			〃	
		3	地域保健と医療			〃	
		4	感染症とその予防			〃	
		5	人口統計（人口静態、人口動態）			〃	
		6	〃			〃	
		7	疾病構造の現状（死亡順位）			〃	
		8	悪性新生物と生活習慣			〃	
		9	環境の保全（環境問題の現状）			〃	
		10	産業保健			講義	
		11	〃			〃	
		12	食品衛生と栄養			〃	
		13	母子保健			〃	
		14	学校保健			〃	
		15	疫学とスクリーニング			〃	
評価		講義終了後、国家試験形式の試験を定期試験、再試験で1回ずつ実施する。					
参考文献		「わかりやすい公衆衛生学」：ヌーベルヒロカワ 国民衛生の動向					
備考							